Vero E6

305008

□要

□明

Vero C1008□たはVero 76クローンE6としても知られるVero E6細胞は、アフリカミドリザルChlorocebus sabaeusの腎臓に由来する上皮細胞の連続株である。 Vero細胞のサブラインであるVeroクローンE6は、SARS-CoVやSARS-CoV-2のようなコロナウイルス、エボラウイルス、ジカウイルスを含む広範なウイルスに対する感受性が高いため、ウイルス学研究における有用性で特に注目されている。
この細胞株は、ウイルスの培養と分離が可能であるため、日本脳炎ワクチンなどのワクチン製造に極めて重要である。この細胞は、ポリメラーゼ阻害剤レムデシビルの試験など、COVID治療薬の開発において極めて重要な役割を果たしている。様々なウイルスの複製をサポートする能力を持つ Vero E6細胞は、化合物のスクリーニングや抗ウイルス効果の評価を容易にする。
臨床試験におけるその役割は、デキサメタゾンのような抗炎症薬の評価や、 pgp遺伝子によってコードされるP糖タンパク質（pgpタンパク質）のような遺伝子産物の研究にも及んでいる。Vero E6細胞はインターフェロンβ遺伝子を欠損しており、これがウイルス感染に対する高い感受性の一因となっている。
要約すると、ヴェロE6細胞はウイルス学と生物医学の分野において貴重な資源であり、抗ウイルス剤のスクリーニング、ヴェロにおける複製の研究、レトロウイルス配列の理解の探求に多用途のプラットフォームを提供する。

ティッシュ	正常な腎臓

分類

生物	アフリカグリーンモンキー
成長特性	アドヘレント
バイオセーフティレベル	1

特徴

形態学	上皮
倍増時間	22時間

識別子

引用

Vero E6 (Cytion カタログ番号 305008)

NCBI 納税者番号	60711
セロサウルス	CVCL_0574

取り扱いと飼育

培地

EMEM（MEM Eagle）、w: 2 mM L-グルタミン、w: 2.2 g/L NaHCO3´w: EBSS（Cytion論文番号820100a）

培養雰囲気	37°C´5%CO2、加湿雰囲気。

サプリメント

培地に10% FBSと1% NEAAを添加する。

解離試薬	アキュターゼ

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

継代培養

接着した細胞から古いメデュームを取り除き、カルシウムとマグネシウ ムを除いたPBSで洗浄する。T25フラスコでは3-5ml ′T75フラスコでは5-10mlのPBSを使用する。次に、T25フラスコでは1-2ml ′T75フラスコでは2.5mlのアキュターゼで細胞を完全に覆う。室温で 8-10分間インキュベートし、細胞を剥離させる。インキュベーション後、細胞を10mlの培地と静かに混合して再懸濁し、 300xgで3分間遠心する。上清を捨て、細胞を新しいメデュームに懸濁し、新しいメデュームの入った新しいフラスコに移す。

流体の更新	週2~3回

解凍と培養

Confirm that the vial remains deeply frozen upon delivery, as cells are shipped on dry ice to maintain optimal temperatures during transit.
Upon receipt, either store the cryovial immediately at temperatures below -150°C to ensure the preservation of cellular integrity, or proceed to step 3 if immediate culturing is required.
For immediate culturing, swiftly thaw the vial by immersing it in a 37°C water bath with clean water and an antimicrobial agent, agitating gently for 40-60 seconds until a small ice clump remains.
Perform all subsequent steps under sterile conditions in a flow hood, disinfecting the cryovial with 70% ethanol before opening.
Carefully open the disinfected vial and transfer the cell suspension into a 15 ml centrifuge tube containing 8 ml of room-temperature culture medium, mixing gently.
Centrifuge the mixture at 300 x g for 3 minutes to separate the cells and carefully discard the supernatant containing residual freezing medium.
Gently resuspend the cell pellet in 10 ml of fresh culture medium. For adherent cells, divide the suspension between two T25 culture flasks; for suspension cultures, transfer all the medium into one T25 flask to promote effective cell interaction and growth.
Adhere to established subculture protocols for continued growth and maintenance of the cell line, ensuring reliable experimental outcomes.

品質管理と凍結保存

無菌性

マイコプラズマ汚染は、PCRベースのアッセイと発光ベースのマイコプラズマ検出法の両方を用いて除外される。
細菌、真菌、酵母のコンタミネーションがないことを確認するため、細胞培養物は毎日目視検査が行われる。

凍結培地	凍結保存培地としては、融解後の生存率を十分に高めるために完全増殖培地（ FBSを含む）＋10％DMSO ′ □たは回復を促進し凍結によるストレスを軽減するために最適化された浸透保護剤と代謝安定剤を含む CM-1（Cytionカタログ番号800100）を使用している。

保管条件

長期保存の場合、バイアルを-150~-196℃の気相液体窒素に入れる。80℃での保存は、液体窒素に移す前の短い暫定措置としてのみ許容される。

配送条件

凍結保存された細胞株は、輸送中約-78℃を維持するのに十分な保冷剤とともに、有効な断熱包装でドライアイスとともに輸送される。受領後、直ちに容器を検査し、遅滞なくバイアルを適切な保管場所に移してください。

寄付者

ドナーの年齢	アダルト

法務・安全

安全上の注意事項

将来の融解のためにクライオバイアルを液体窒素に保存する場合、厳格な安全対策を遵守することが必須である。適切な保護手袋と保護衣は不可欠であり、液体窒素タンクへの凍結サンプルの移動中□たは液体窒素タンクからの凍結サンプルの移動中には、フェイスマスク □たは安全ゴーグルの使用が義務付けられている。これは、凍結試料を取り出す際に、凍結試料が爆発し、鋭利な破片が飛び散って怪我をするリスクを軽減するためである。

保証

サイシオンは、製品の品質と生存率を保証し □す。
当社では、培養を開始した時点で、当社施設からの出荷後 60日間、細胞が生存可能であることを保証してい □す。
すべての材料が、分析証明書および／□たは製品シートに記載された仕様に適合していることを保証し □す。
詳細については、<a href=""/Who-we-are/Warranty/"" hreflang=""x-default"">Warranty Statement をご参照ください。

物質移転契約書の締結が必要	Yes

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB